

主な内容

一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2
主な質疑	3
委員会報告	4
平成24年度決算審査	5
9月定例会 議案等審議結果一覧	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



8月24日に盛大に開催されたたいかんべ祭

9月定例会が9月3日(火)に招集され、9月18日(水)までの16日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は6ページに掲載しております。
*なお、議決された議案等の内容など、詳しくは「広報那須烏山第97号」をご覧ください。

一般質問議員と質問項目(質問順)

板橋 邦夫 議員

- 1 神長野上線、野上下境線の道路改良工事について
- 2 EV充電スタンドの設置について
- 3 市全体の連結決算と連結財務書類の作成について
- 4 学校給食について

中山 五男 議員

- 1 東日本大震災後の対応策について
- 2 県立烏山高等学校の支援策について
- 3 奨学金制度について
- 4 公金の未収金徴収対策について
- 5 学校給食について

平塚 英教 議員

- 1 烏山線沿線活性化、駅周辺整備について
- 2 大口滞納対策について
- 3 実践型地域雇用創造事業について
- 4 中央公園整備について
- 5 市街地の集中豪雨の流末処理対策について
- 6 「社会保障改革」に関するプログラム法案「要綱原案の問題点について

高徳 正治 議員

- 1 庁舎の整備について
- 2 若者を対象とした市営住宅について
- 3 買ひ物弱者のための移動スーパーについて
- 4 障害者支援の取り組みについて
- 5 神長公民館と市営住宅の敷地区分について

川俣 純子 議員

- 1 街路灯、防犯灯について
- 2 学童保育について
- 3 市役所での男女共同参画について
- 4 アレルギーについて
- 5 那珂川の河川開発について

樋山 隆四郎 議員

- 1 TPPと農業について

渋井 由放 議員

- 1 学校等の空調の利用状況について
- 2 学校再編の答申と説明会について
- 3 学校等のICT化について
- 4 学校給食の運営と欠食について
- 5 学校給食センターの運営について

※赤字になっている項目は、本紙2ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

議会の動き

平成25年7月

27日 ○議会だより第30号 発行

○「山あげ祭」の烏山線利用観光客の迎え

8月

27日 ○議会運営委員会

○議員全員協議会

○学校給食センター建設工事及び公共工事調査特別委員会

9月

3日 ○第5回定例会 (18日まで)

5日 ○議会運営委員会

○議員全員協議会

10日 ○各常任委員会 (11日まで)

11日 ○議員全員協議会

○議会運営委員会

18日 ○議会広報委員会

27日 ○行財政改革特別委員会

10月

9日 ○議会広報委員会

16日 ○議会広報委員会



平成25年9月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
会議録は市立図書館及び市ホームページで
閲覧できます。

神長野上線、野上 下境線の道路改良 工事について他

板橋邦夫議員

(問) 神長野上線、野上下境線の道路整備は平成19年度より24年度にかけて施工されたが、未整備区間の工事の見通しについて市長の考えを伺う。

◎市長 神長野上線は事業費約7億5千万円で整備した。野上下境線は1573万、事業費約3億5千万円で今年度中に工事完了を目指す。また下野大橋北側約50メートルについても舗装整備する考えである。

(問) EV車やプラグインハイブリッド車が急速に普及して来ており、本市においても急速充電器の設置が急務と思われるが市長の考えを伺う。



舗装整備予定の下野大橋北側

◎市長 電気自動車の普及に伴い県においても充電スタンドの設置を推進しており、本市を訪れる訪問者や観光客にとって有利な設備と考えている。公共施設の再編整備の方法を踏まえ費用対効果を考慮の上、設置に向けて検討して参りたい。

学校給食について

中山五男議員

(問) 学校給食の米飯から異臭があり急ぎで中止したが、その後原因をつかめないまま米飯を同じ業者から納入している。異臭原因は米か水にあるが「学校給食衛生管理基準」からして、米は保存温度を15度以下と定められているが、保管庫が50度以上に上がっていたとは食材管理がずさんとしか言えない。

水質も毎日測定し、記録に残すことが義務づけられていることであり、直ちに説明出来たはず。食材管理の殆どを県学校給食会に任せているが、それで給食の安全が確保出来るのか。

◎教育長 県学校給食会は食材の品質管理、炊飯工場等の衛生管理等を専門的な立場で行っている。現在本市では食材の殆どを県学校給食会に発注しているが、一部は地元スーパー等から購入している。米は低温倉庫に保管させるなど、管理体制は厳格に行われている。

烏山線沿線活性化 駅周辺整備について

平塚英教議員

(問) 8月1日からJR烏山線の烏山駅が「みどりの窓口」業務の廃止、大金駅が無人化された。また、来年から国内初の蓄電池駆動電車の導入が予定されている中で、烏山駅、大金駅、仁井田駅舎やホームの改修を図ることだが、その改修内容とスケジュールを伺う。

◎市長 来春からの国内初のEV-E301系蓄電池駆動電車の運行開始に伴い、運営体制の変更とご指摘の3駅舎改修を今年度中に市と協議する予定である。

(問) このような変革期の中、JR烏山線の利用者が減少している状況下で、利用者の利便性の確保と市全体での利用向上対策を図る事が求められている。この事態を受けて「JR烏山線沿線整備、観光振興対策検討委員会」を含めて、市全体での利用向上対策を図るよう強く求める。



烏山駅新駅舎イメージ (提供: JR 東日本)

庁舎の整備について

高徳正治議員

(問) 烏山庁舎、南那須庁舎は耐震診断の結果、建て替もしくは耐震補強が必要となつてきている。前期基本計画の本庁舎移行は平成24年度目標であったが今後はどのように進めるのか。

◎市長 庁舎は、災害時には災害対策本部を設置し救助・復旧の指示、情報収集など災害対策と災害復旧の拠点施設であり、極めて重要な公共施設である。両庁舎とも建築から30年以上経過しており抜本的な対応が必要と考えている。後期基本計画において平成29年度に整備方針決定を目標としている。本年度の重点事業である知恵と協働によるまちづくりプラン11プラス2に位置づけ市職員で構成する庁舎整備検討委員会の方性を検討している。現在の分庁方式の課題を検証しながら、市民サービス、行政の効率化、防災拠点の整備など幅広い視点で協議するとともに公共施設再編

の利用向上対策を図る事が求められている。この事態を受けて「JR烏山線沿線整備、観光振興対策検討委員会」を含めて、市全体での利用向上対策を図るよう強く求める。



市役所南那須庁舎

学童保育について

川俣純子議員

(問) 学童保育の利用状況と利用時間について及び今後の学童保育について伺う。

◎市長 今年度から3年間、野うさぎクラブに運営業務を委託し、市内の6カ所を実施している。通常利用が183名、長期休業期間のみの利用が83名、計269名が登録している。利用時間、通常の登校日が授業終了から午後6時半まで、土曜日及び夏休み等の長期休業期間が午前7時半から午後6時半まで、午後7時まで延長可能。延長保育がない市町もあり、当市の学童保育は、他と比べて高いサービスを提供していると認識している。

今後の対応だが、耐震の問題のあるこども館を利用しては、烏山小学校の敷地内への移設等も含めて現在調査

研究を行っている。
(問) ひとり親支援推進について、市の考えを伺う。

◎こども課長 平成26年度中の子ども子育て支援計画の策定に向け、アンケートを取り、ニーズ調査を行う。
TPPと農業について

樋山隆四郎議員

(問) 環太平洋経済連携協定(TPP)の交渉の結果、仮に関税が撤廃されたとした場合、農業が主力産業である那須烏山市にどのような影響があるかと想定しているのか伺う。

◎市長 関税が即時撤廃され、何の施策もとらなかった場合、政府試算では農林水産物の生産額は全体で約3兆円減少するとしている。この試算方法を栃木県の平成20年度の農林水産物に当てはめると、米が生産額748億円のところ410億円減少、大麦は47億円のところ37億円減少するなど県全体で約40%の減少となる。さらに本市に当てはめると、米が10億円の減少、大麦が2億円減少するなど市の販売農家数1569戸の農業生産額112億円のうち実に45億円が減少することになる。本市の農業は大きなダメージを受け、農業で生計を立てる事が難しい農家が出るのではないかと憂慮される。ただし、これは何も対策を講じない場合の試算。今は農業の大転換期である。国・県・市一丸となって農業再生に取り組む必要性を感じている。

学校給食センター の運営について

渋井由放議員

(問) 学校給食センターが運営を開始して1年が経過したが児童・生徒数の減少が予想されている。今後どのような運営計画になるのか伺う。

◎教育長 約2300食を提供し順調に稼働している。児童・生徒数の減少が見込まれており有効な活用について全市的な調整を図り効率的な運営をしていく。

(問) 各保育園で市職員が調理をしている。これを学校給食センターで行うと職員給与という固定費を下げる事が出来る。そこまで踏み込んだ考えをすべきであると思うが。

◎総務課長 正職員の調理師が4名、嘱託の調理師5名、栄養士1名で保育園の副食を提供している。学校給食センターで提供できれば職員の定数削減と人件費の削減につながるかと考える。

(問) 調理施設を備えない保育園なら安く建設出来る。総合的に学校給食センターを利用すべきである。



給食の風景 (荒川小学校)

主な質疑

9月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。
会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

専決処分の報告(損害賠償の額の決定及び和解について)

議員 市道での草刈り作業中、通行車両に飛び石が当たりフロントガラスに損害を与えた事故に対し、損害額全額を支払うことで和解が成立したとのことだが今後の防止策は、
都市建設課長 草刈りをしている所に網戸を配置し飛び石を防ぐ。または、車両が近付いてきた際に、交通整理員が声をあげて作業員に伝え、草刈り作業を中止させることで防止する。

子ども・子育て会議設置条例の制定について

議員 国はこの会議設置の主な目的に待機児童への対応を想定しているようだが、本市は待機児童がない。どのような方向で進めるつもりか。
子ども課長 本市としては、待機児童のことだけでなく、那須烏山市の全体的な子育て支援を考えて計画を策定する。

議員 委員の選考方法、会議の開催頻度について伺う。
子ども課長 委員は保護者・子供関係の団体・医療・保健・教育の関係者と一

平成25年度補正予算について

議員 観光振興費の「るるぶ」の追加作成について、増刷数と一部あたりのコスト、想定する配布先について伺う。
商工観光課長 1部70円で、2万部増刷する。各地のイベントで配布し、特に市外へのPRに活用したい。なお、関東エリアのJTB各店にも備え置いてもらっている。



るるぶ那須烏山

議員 教育情報ネットワーク整備費で整備する電子黒板について、その設置状況を伺う。
学校教育課長 今回の補正で36台を追加した。これにより全小中学校のおおむね2教室に1台を設置できることになる。

議員 水道事業について、有収率が低い、漏水調査の計画を伺う。
上下水道課長 平成24年度までに一通り全地区調査は終了した。ただし、給水管の老朽化が激しいので、今後も漏水調査を定期的に1年から2年おきには実施しなければならぬ。

議員 長峰ビジターセンターの管理について、今後の方針をどのように考えているか。
商工観光課長 現在は県から市に、市から国見連絡班に管理が委託されている。今後も、県の委託を受けて管理する考えである。

生涯学習課長 利用が少ない会議室に畳を敷き、柔道の練習場として利用する。その畳等の購入費である。



いきいき交流館

議員 イノシシの捕獲促進強化事業とは具体的にどのようなものか。
農政課長 イノシシの嫌がる臭いの薬品を配合した固形物(忌避剤)購入の補助事業。電気柵と同じ補助率を考えている。

議員 神長の市営住宅の整備について伺う。
都市建設課長 公営住宅を新築すると、家賃は高額になってしまふ。入居者の多くが所得の少ない方である。こういった方にとっては、修理をしながら少しでも快適に過ごしていたことが一番と考える。今後の市営住宅については、整備検討委員会の中で若者向けと高齢者向けの二通りを考え検討していきたい。

議員 いきいき交流館費の使途は何か。
議員 震災の災害関係の見

舞金を今までにどのくらい、何世帯に支給したか。
危機管理室長 災害復旧支援金は、約2580件、約2億5700万円である。被災宅地復旧工事助成金は、28件、8800万円である。

議員 大口滞納関係の不納欠損について伺う。
税務課長 15億円の収入未済のうち14億円が固定資産税関係である。そのうち12億円余が9社による大口滞納関係。そのうちの9億円を本年度不納欠損したいと考えている。

議員 緊急雇用創出事業費が1億2338万円投入され102人を雇用したとされているが雇用の定着につながっているのか。
商工観光課長 企業委託の事業は7事業者、雇用者32人、事業費5145万円である。市が直接雇用した臨時職員は、10事業で70人を雇用した。事業費7193万円である。制度の趣旨は短期間の緊急的な雇用創出にあり、定着は必須ではないのだが、継続して雇用されている方もいるようだ。ただし、追跡調査等はしていない。

議員 山あげ会館の指定管
環境課長 8月15日号のお知らせ版で11月最終の水曜日まで行うことで周知したところである。
議員 平成24年度市債残高は148億円ということだが償還のピークはいつになるのか。
総合政策課長 中長期財政計画の中で、今後、合併特例債を満額使った場合には、平成34年度に償還のピークを迎えると推計している。



山あげ会館

9月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第1号	年金2.5%の削減中止を求める陳情	なし	不採択
陳情書第3号	「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる陳情	なし	不採択
陳情書第5号	烏山法務局証明センターの設置を求める陳情	なし	継続審査

9月定例会の本会議日程と傍聴者数

		内容	傍聴者数
9月	3日(火)	開会・上程・採決・付託	5人
9月	4日(水)	一般質問	14人
9月	5日(木)	一般質問	9人
9月	6日(金)	一般質問	11人
9月	9日(月)	平成24年度決算総括質疑・付託	3人
9月	18日(水)	報告・採決・閉会	4人
		計	46人

学校給食センター建設工事及び公共工事調査特別委員会

所管事務調査中間報告

平成25年3月定例会で申し出のあった閉会中の継続審査について、9月定例会において中間報告が行われましたので、その内容を掲載します。

(1) 調査範囲

学校給食センター建設工事関連問題のうち、栃木県建設工事紛争審査会の仲裁裁定に持ち込まれた案件以外の調査。

(2) 学校給食センター浄化槽設置工事に関する問題点

① 浄化槽の設置予定地よりも西側に6メートル移動して設置する結果となり、予定地が6本のパイプで地盤の支持力を保つ予定であったものが浄化槽にかかるパイプが4本となつてしまった。これにより浄化槽に水張りをした時点で、片側が14センチ沈下し、4本のパイプの内、一番西側のものが耐圧盤及びコンクリート浄化槽を突き破る事故が発生させた。その後浄化槽が沈下したまま応急工事を実施して完成に至った。この問題については標準仕様書4章 地業工事4,2,1に定める基本要物品質「(b) 地業の位置、形状及び寸法は、上部の構造物に対して有害な影響を与えないものであること。」(c) 地業は、所要の支持力を有するものであること。」を基準どおり実施しなかったために起きた事故である。したがつ

てこの工事の設計及び施工監理を行った業者、馬上設計(株)の瑕疵は明白であり、責任は免れない。同様にこの工事施工については、毎週1回の工程会議において予定位置から6メートル移動して浄化槽を設置することを決めながら、変更した浄化槽の設置場所の支持力が確保できるかどうか確認も行わず施工したために重大な沈下事故をひきおこした。この工程会議に参加している設計・施工監理業者、施工業者、とちぎ技術センター及び発注者である市当局の瑕疵があることも明白である。

② 学校給食センター建設工事については、市議会において工事の1年前から予定地の地盤が軟弱であることを、多くの議員が指摘し、市当局も問題が起きないように間違いなく進めると答弁したにもかかわらず、このような結果となった。さらに浄化槽の不等沈下の問題についても、議会側の指摘に対し、後付での説明であり、その内容も問題発生時から今日まで、次々と変更しており、議会軽視と言わざるを得ない状況にある。

別表

Table with 3 columns: 問題点 (Issues), 特別委員会の意見 (Opinions of the Special Committee), and 那須烏山市当局 (Nasu-Utsunomiya City Office). It details the quality standards for the sewage treatment tank installation and the city's management responsibilities.

③ この学校給食センター浄化槽設置工事についての議会や市民に対する混乱を引き起こした市当局の責任は重大であり、このような問題を引き起こした市側の問題として、公

共工事を施工する市側の体制と人材管理・配置にも問題がある。二度とこのような問題を起ささないよう市の公共工事に関する市側の責任ある管理体制をすみやかに構築するべきである。以上の問題点につき、関係者ごとに整理し、特別委員会の意見を付す。(別表)

二常任委員会合同視察

研修報告

去る7月9日、総務企画・文教福祉・経済建設常任委員会合同で実施した那珂川・荒川等の上流域でダムを管理する事務所及び現場の視察研修について三委員会を代表して報告します。



矢板土木事務所ダム管理部での研修

この度の視察研修の目的は、本市が台風・大雨洪水等により城東・滝田・下境地区等を始め多くの河川周辺地域の家屋や畑が度々甚大な被害にあっていることから、本市の那珂川や荒川の上流域に関わるダムの管理事務所に向き、雷雨・雷雨等の集中豪雨、また台風による豪雨等によりダムから放流するときの災害防止策についておよび下流域市町への情報手段やその連携の現状についての調査と研修でありました。

研修先は荒川水系の西荒川ダム・東荒川ダム・寺山ダムと那珂川水系の塩原ダムを管理している矢板土木事務所ダム管理部と那珂川水系の蛇尾川ダムを管理する東京電力那須野御所土木保守グループ、また那珂川水系域にある深山ダム



併せて、各ダムの管理担当者には、ダムの放流時には最新の天気予報を駆使して放流の調整を図られたい。下流域にある本市の被害を未然に防ぐために、更に連携を密にしていきたいとの旨の要望をしたことを記して報告と致します。 経済建設常任委員会 委員長 久保居光二郎

烏山線利用向上対策 特別委員会 活動報告

7月27日、当委員会の呼びかけにより市議会議員が烏山駅前集合し、烏山線を利用して山あげ祭に來られたお客さまを歓迎する「お出迎え」を行いました。

この日は、駅前で烏山線開業90周年記念式典も行われ、多くの人で賑わう中でのお出迎えとなりました。また、集まった議員は式典終了後に行われたパレードにも参加し、烏山線利用向上のPR活動を行いました。

烏山線は地域の大切な足であり、また、交流人口を確保するための重要なツールです。この存続のため、かねてより利用向上を訴えてきた当委員会ですが、来春には蓄電池駆動電車の烏山線での運行がはじまります。このチャンス逃すことなく利用向上に繋げられるよう、さらに積極的に活動していきます。

委員長 小森幸雄



平成24年度 決算審査

平成24年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の決算については、各常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会での審査の中で出された意見等で本会議において報告された内容を掲載します。

総務企画常任委員会

◎所管する課等
総合政策課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

◎審査事項
所管する課等の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算

総合政策課

◎総合政策課は、市の施策に関する事業について各課横断的に取り組む体制を構築するだけでなく、その事業実現のために、より一層のリーダーシップを発揮され、健全財政の維持にも努力された。

総務課

◎危機管理については、近年のあらゆる想定外の災害に対してマニュアルにとられない危機管理体制がとれるように努力され、防災について市民や学校での訓練や教育の推進を図られた。

税務課

◎市税等の徴収については、現年課税分の徴収率がアップし努力の成果が見られるが、大口滞納の問題については、納税者に不公平感を生じさせないためにも早期解決に向けて、一層の対策を強められた。

文教福祉常任委員会

◎所管する課
市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課

◎審査事項
所管する課の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算

学校教育課

◎荒川中学校と下江川中学校の統合は、教育の機会均等、適正な学校規模の観点からやむを得ないものと判断するが、その時期については市民の理解を得ているとされている。状況である。地域住民の声を聞き、丁寧に進められた。また、統合後の下江川中学校校舎を江川



下江川中学校

小学校校舎として用いる件については、改修に多くの経費が費やされることと想定される。校舎に必要な設備や耐震性、改修にかかる経費等を精査の上、慎重に検討された。

◎文武両道教育やABC/R運動など既に取り組まれているものもあるが、小中学校において、更に心の教育に力点を置いた事業の充実を図りたい。

れば再考の機会を見つけて規模縮小を図りたい。また、歴史資料館整備に際しては、既存施設の活用を十分に検討された。

市民課

◎熊田診療所において、医師の個性を活かした内容で地域住民との触れ合い事業を実施したとのことである。これをきっかけに医師と地域との結びつきが強くなり、受診者が増えることとなることを期待する。地域との信頼関係は、地域医療の拠点たる診療所には欠かすことのできない重要な要素である。各診療所とも、日頃よりそれぞれに適した方法で地域との信頼関係の構築に腐心された。

こども課

◎子どもたちの安心安全を鑑みると、こども館の老朽化、未耐震化は看過できない。整備について公共施設再編整備計画策定委員会等で検討していることであるが、可及的速やかに判断された。

生涯学習課

◎結婚相談員には、長年にわたって地域の「仲人」として活躍いただいているが、その仕組みは今の社会情勢にそぐわなくなりつつある。加えて相談員のなり手の確保にも苦慮しているとのことである。時代に即した新たな結婚相談制度のあり方を検討されたい。

◎遺跡調査及びこれに伴う周辺整備については、現行の計画での実施を最大限とし、かつ、可能であ



やすらぎ荘

荘についてだが、その役割は他の施設の整備により十分代替できるものと思われる。現在、公共施設再編整備計画策定委員会において存廃の検討がされているとのことだが、廃止を前提とした議論をされたい。

経済建設常任委員会

◎所管する課等
農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

◎審査事項
所管する課等の一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出決算

商工観光課

◎企業誘致においては、積極的に企業等に出向き情報を収集するとともに、更なる実効性が図れる誘致活動を進められたい。

◎市のPR活動及びそれらに関する事業を推進することは大いに有意なこと

と考える。しかしながら各事業における費用対効果についての検証を怠ることなく、事業によってはその見直しを図られた。

農政課

◎指定管理のふれあい農園事業が有効利用されるよう市のホームページなどで積極的にPRを図ると共に、利用者の推移を見守りつつ今後のあり方を検討されたい。

◎「人・農地プラン」は今後の本市の農業に関わる重大なプランである。引き続き地域の実情にあった支援を図られたい。

◎農産物の販路拡大事業及びそれらに関するPR事業は本市の農業振興を図るためにも重要な施策である。しかし各事業においては、その成果と費用対効果の検証をおこなうとともに、実効性が多く認められない事業については廃止を含めた見直しを図られたい。

都市建設課

◎市道整備は、引き続き国の有利な助成制度を検討し市の限られた財源で有効投資が図られるよう、優先順位を明確にして着実な整備を進められたい。

◎市営住宅使用料の収納率は2年連続100%となったこと、また過年度未納分の収納率も向上していることは大いに評価できる。今後とも引き続き努力されたい。

◎定住促進の観点からもPFIなど民間活力の導入をすることなども視野に入れ、若者向け住宅の具体的な整備計画の策定を早急に進められたい。

上下水道課

◎水道の有収率においては、改善が見られるものの県内他市町と比較すると低率である。引き続き漏水調査及び修繕を進めると共に、老朽管布設替等の抜本的な対策を早急に講じられたい。

◎下水道への接続促進に対する成果は見られるが、未だに接続率が低い現状である。引き続き各課と連携し接続促進に努められたい。

環境課

◎再生可能エネルギー利用向上のため、市民への補助金制度の充実を図られたい。

◎一般廃棄物収集運搬業務の入札においては、更に公正な競争原理が働くよう入札条件の改革に努められたい。



ふれあい農園

9月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)			議案等			審議結果			議案等			審議結果		
議案第7号	子ども・子育て会議設置条例の制定について	委員会へ付託 →可決	議案第4号	平成25年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第5号	平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決	議案第6号	平成25年度水道事業会計補正予算(第1号)について	可決	議案第12号	平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第8号	非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	委員会へ付託 →可決	議案第9号	市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	議案第10号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決	議案第11号	市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	可決	認定第3号	平成24年度熊田診療所特別会計決算の認定について	委員会へ付託 →可決
議案第9号	市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	議案第1号	平成25年度一般会計補正予算(第2号)について	可決	議案第2号	平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	認定第6号	平成24年度農業集落排水事業特別会計決算の認定について	委員会へ付託 →可決	認定第8号	平成24年度簡易水道事業特別会計決算の認定について	委員会へ付託 →可決
議案第10号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決	議案第3号	平成25年度介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決									

(起立による採決)

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																
		田島信二	川俣純子	渋谷由放	渡辺健寿	久保居光一郎	高徳正治	佐藤昇市	板橋邦夫	水上正治	平山進	佐藤雄次郎	小森幸雄	滝田志孝	高田悦男	中山五男	平塚英教	樋山隆四郎
認定第1号	平成24年度一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○
認定第2号	平成24年度国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○
認定第4号	平成24年度後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○
認定第5号	平成24年度介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○
認定第7号	平成24年度下水道事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○
認定第9号	平成24年度水道事業決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席
※掲載は上程順 ※議長(佐藤雄次郎議員)は表決に加わらない。



市議会の開催される議場で行われた出前講座

中学生が模擬議会

9月25日(水)、26日(木)の2日間にわたり、烏山中学校の3年生を対象に市職員出前講座「議会ってどんなことをしているの」を行いました。

出前講座は、市職員が学校等に出向き市政等について講演する事業ですが、この日は議場の雰囲気を感じてもらうべく、特別に議場で実施。生徒たちは議長席や議員席、市の執行部席に座り、事務局職員からの講義を受けたあと、事務局で用意した質問書と答弁書を使って簡単な模擬議会を体験しました。

2日目に議長役を体験した堀江美翼さんは「議場の厳粛な雰囲気には緊張しました。実際に模擬議会をやってみて、市と議会の関係が少しは分かった気がします。これから学校で地方自治について勉強するので、興味がわいてきました」と話してくれました。

12月定例議会は、12月3日(火)開会予定です。

※正式な日程は、11月26日に開催される議会運営委員会で決定されます。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

(☎0287-88-7114)

表彰

9月定例会において、「地方税財源の充実確保を求め意見書」を関係行政庁へ提出することを決定しました。

意見書提出

栃木県市議会議長会より中山五男前議長と高徳正治前副議長に感謝状が送られました。

あともがき

東日本大震災から2年7カ月が経過した。本市の復旧対策はかなり進んだが、東北の復興はまだまだこれからである。

今年には富士山の世界文化遺産登録や7年後のオリンピックピック、パラリンピックの東京開催が決定した。前回の東京大会の時には高度経済成長期にあり日本中が活気溢れていた。当時私は高校3年生だった。世界最大のイベントの雰囲気を感じたのも今の思いがする。

更にその2年後には国民体育大会の開催が栃木県で再び予定されている。希望に燃え活力ある日本、そして栃木を夢見たいと思う。

我が那須烏山市においては平成26年度春に世界に誇る最新の蓄電池駆動電車がJR烏山線走る。併せて駅舎等が一新される。

また10月には全国ねりんピック栃木の俳句交流大会が自然景観豊かな滝、落石地区を主に開催される(25年10月にはプレ大会を実施)。全国に那須烏山市を発信できる絶好の機会であり、多くの来客が見込まれる。市をあげて歓迎し、活性化の起爆剤となることを願うものである。

(渡辺健寿記)